

# 留 学 報 告 書

記入日:2019年2月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 経済学科
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學 / National Taiwan University
留学期間	2018年9月～2019年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	(システム上)1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社會科學院 經濟學系 College of Social Sciences, Department of Economics <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年1月12日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月～1月 2 学期:2月～7月 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	31,802 (2017年) 参考サイト <a href="http://acct2017.cc.ntu.edu.tw/final-e.html">http://acct2017.cc.ntu.edu.tw/final-e.html</a>
創立年	國立臺灣大學 1945年(臺北帝國大學 1928年)

留学費用項目	現地通貨 (NTD)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	26,000	104,000円	
食費	50,000	200,000円	交遊食費分含む
図書費	2,000	8,000円	
学用品費	1,000	4,000円	
教養娯楽費	12,500	50,000円	
被服費	2,500	10,000円	
医療費		円	
保険費		33,000円	形態:大学指定の保険(日本内費用)
渡航旅費		38,000円	サイトで円購入(一時帰国の往復費含まず)
雑費	5,000	20,000円	
その他		10,000円	ビザ申請(日本内費用)
その他		20,000円	英文健康診断費(日本内費用)
その他		円	
<b>合計</b>	<b>99,000</b>	<b>約 500,000円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:** 直行便

渡航費用

チケットの種類            エコノミー(LCC)  
 往路            成田－桃園 (Tigerair)  
 復路            桃園－羽田 (Peach)  
 合計            約 38,000 円 (一時帰国の往復費 (Peach 分) は含まず)

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

価格比較のためネット検索 (skyscannar, skyticket 等) 後、航空会社サイトで予約

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎 (寮)

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 本人含め 2 人)

3)住居を探した方法:

大学の斡旋(入学書類作成時に部屋タイプのアンケートがある。)

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

理系学部の台大生が同室でした。実験等で宿舎に帰らないことや、(地元台大生ではよくありますが)週末は帰宅するケースが多くあり、実質 1 人部屋の状況が多かったです。ただし、相部屋と考えると、図書館で勉強することが、多くなりました。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

渡航前に、留学生の 1 人づつに台大生のボランティアが紹介されます。先方のスケジュールもあるので、早めに相談して下さい。台大生は親切な人が多いし、日本人留学生も多く、相談相手には困りません。さらに、大学が、相談窓口を The Office of International Affairs (OIA)(大学間協定留学用)、学部事務室(学部間協定留学用)に設置しています。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅レジ(外務省海外旅行登録)からのメール情報等を参考にしました。日本国内と同じで、怪しい場所への出入り、お酒の飲みすぎ、羽目の外しすぎはトラブルのもとです。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮にも共用の Wi-Fi はありますが、部屋では電波の弱い場所もあり、日本から持参した Wi-Fi ルーターを中継ポイントとして使用していました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行口座は開設しませんでした。Debit カードを利用して、日本の国内口座から現地の ATM で台湾ドルを出金できます。(カードを予備を含め複数枚作成しました。)

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に、こだわりがなければ、台湾内でなんでも調達できると感じました。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

交換留学で、授業料負担はありませんでした。

## 卒業後の進路について

## 1) 進路

就職  進学  未定  その他:

## 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

台湾から、ボストン・キャリアフォーラム(BCF)に参加して内定を獲得した日本人留学生と知り合いになり、刺激を受けました。ただし、BCFでの内定獲得には、相応の実力が必要と感じました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Public Administration ( I )		行政学一
科目設置学部・研究科	社会科学院	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回	
担当教授	劉康慧	
授業内容	行政に関する理論をケーススタディをもとに学ぶ	
試験・課題など	中間テストは授業で学んだ単語についての説明 期末テストは 5 つの質問から 3 つ選びそれぞれ 600 字程度の英文レポートを提出	
感想を自由記入	授業毎にリーディングの課題が多くあり、それ以外にもケースメモなどのレポートも 2, 3 回あります。課題が多い分大変ですが授業内容はケーススタディを中心に学ぶので面白かったです。海外留学の大学院生の参加もあり、非常に興味深い授業でした。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to East Asian Studies		東アジア学入門
科目設置学部・研究科	社会科学院	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回	
担当教授	劉康慧	
授業内容	東アジアの定義・歴史をグループワーク・プレゼンテーションを通して学ぶ	
試験・課題など	中間テスト: 東アジアに関する定義や歴史に関する記述 期末テスト: グループプレゼンテーション(写真添付)及びグループでのレポート	
感想を自由記入	グループプレゼンが 2 回あり、自分たちで東アジアの定義をおこったり日中戦争などに関する考察を調べ発表しました。海外の留学生は歴史に詳しい学生が多く、刺激を受けました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Economics(I)		経済学(I)	
科目設置学部・研究科	社会科学院		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	金善鐸		
授業内容	ミクロ経済学・マクロ経済学の初歩理論、実際 DATA での計算		
試験・課題など	中間及び期末テスト: マークシート及び記述		
感想を自由記入	Principles of Economics(経済学入門)です。経済学は英語で構築された学問であることを再認識しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
卓球初級		卓球初級	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	体育授業(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	林信甫		
授業内容	卓球の基本技能の実践		
試験・課題など	基本技能の実践および試合		
感想を自由記入	体育の授業です。中国語の授業ですが、スポーツは言葉を超えて交流ができます。気分転換や授業外の交流のきっかけにもなります。お勧めです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Modern Southeast Asia: History and Archaeology		(入門)現代東南アジアの歴史と考古学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	坂井隆		
授業内容	東南アジアの歴史		
試験・課題など	期末レポート		
感想を自由記入	東南アジアの歴史についての概要説明は、私には参考になりました。日本人の学者ですが、日本人留学生は勉強していないと公言していました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Biology in the Movies		映画の中の生物学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	曹順成		
授業内容	ジュラシックパーク等のメジャーな映画を視聴し、生物学に関連するトピックスを解説します。		
試験・課題など	各映画の視聴後にレポートを提出します。レポート毎の評価とフィードバック有。		
感想を自由記入	当初は、提出レポートが散々な評価でしたが、徐々に評価も上がりA評価等もありました。授業外のイベント(映画上映)に参加し、レポートを出すことでExtra Pointが付与されることもありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to English Presentations		英語プレゼンテーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・プレゼンテーション・チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	熊宜君		
授業内容	毎回の5分プレゼンテーションと学期の随時の個人プレゼンテーション		
試験・課題など	毎回の5分プレゼンテーションと学期の随時のプレゼンテーション		
感想を自由記入	政治経済学部のACE(英語発展授業)と同様の授業 同日午前の行政学のグループワークが始まり、ドロップとした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際生華語(一)		留学生用中国語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が3回		
担当教授			
授業内容	授業開始前のプレイズメントテストの成績でのレベル別の授業。文法や語法メインで、先生に当てられたときに中国語で回答します。		
試験・課題など	小テスト、学期テスト等		
感想を自由記入	①月水金の朝8時から2時間の授業が②火木の夕方から3時間の授業タイプがあります。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際生実用華語(一)		留学生用応用中国語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授			
授業内容	国際生華語を履修し、更に勉強したい人用の中国語コースです。会話練習やプレゼンテーションなど、話す機会が多くなる応用コースです。		
試験・課題など	小テスト、学期テスト等		
感想を自由記入	火木の朝8時開催のコースのみとなります。		



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	明治大学進学決定後、大学 HP より留学情報を閲覧。 TOFEL のことを知り、高校の TOEIC/TOEFL 講座に参加。
4月～7月	4月：明治大学入学 5月：学部留学サポーター参加(対ノースイースタン大学)
8月～9月	8月：大学の夏季 TOEFL 講座を受講
10月～12月	10月：TOEFL 受験 11月：協定留学出願(台大のみ) 12月：選考結果あり (不合格の場合は、学部間協定留学で出願の予定でした)
2018年 1月～3月	2月：ベトナム国家大学留学(学部協定短期留学)
4月～7月	5月：学部留学サポーター参加(対アジア諸大学) 6月：台大より受入許可連絡あり 入学手続・ビザ取得・健康診断・航空券手配等の準備開始
8月～9月	8月：オンラインでの授業科目申請開始 大学の国際人材協力プログラム(夏季集中)に参加 9月：留学開始(入寮/オリエンテーション等、授業は中旬より)
10月～12月	11月：中間テスト
2019年 1月～3月	1月：期末テスト、テスト最終日翌日が退寮期日で、夜便で帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校時代に参加した海外語学研修で、異文化の交流の面白さに気づき、漠然と大学では長期留学をしてみたいと思うようになりました。大学入学直後に参加した学部の留学サポーター(ノースイースタン大学)で、留学生や参加サポーター(留学経験のある先輩)との交流から、留学への思いがさらに強くなりました。その後、参加した留学相談会等で、具体的な留学体験談を聞くにつれ、留学への漠然とした希望が、絶対に留学をしたいという強い思いに変化しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ほとんどの留学報告書に記載がありますが、以下の点を現地で再認識しました。ただし、完璧に準備するというよりも、準備を習慣化することが、非常に大切であると思います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学先や近隣地域の地理・文化・歴史がどのように発展してきたか学習すれば、交流がより深まります。</li> <li>・多くの台湾人が日本に興味を持っています。日本のついでの質問に対して、しっかり回答できれば会話が弾みます。</li> <li>・英語留学としても、中国語(現地語)は生活の基本になります。事前学習に力を入れるべきです。</li> <li>・英語は世界共通語であり、レベルを上げるほど、授業以外にも活躍の場が広がります。</li> </ul>
この留学先を選んだ理由	将来、欧米への留学や旅行を希望していますが、その前にアジアの中の日本を、自分自身の体験を通じて体感したく、アジアエリアへの留学を希望しました。大学や学部の留学先リストの大学のホームページから、授業内容や日程等を調査比較した結果、国立台湾大学を以下の理由で選定しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾のトップ大学(QS ランクは世界 100 位内)であり、多くの留学生が学ぶ国際的な大学であること</li> <li>・英語での専門科目に加え、留学生向けのレベル別の中国語授業もあること</li> <li>・多種多様な学部が揃い、所属学部に関係なく、各他学部の授業を履修できること。</li> </ul>
大学・学生の雰囲気	台湾のトップの大学であるため、現地の学生のレベルは非常に高く、留学生に優しい学生は精神的にも余裕がある印象を受けました。留学生も多く、学生・大学ともに受入に慣れていていると感じます。英語での意思疎通に問題ない台大生が多く、他国の留学生も交え、お互いの国の関係や抱えている問題など意見交換する機会もありました。24 時間開放の自習室など学習環境も整っており、多くの学生が勉強に励んでいます。加えて、授業以外の活動にも勢力的に活動している学生も多いと感じました。
寮の雰囲気	大学の徒歩圏内に、連なる3棟の寮(ビル)がありました。施設は充実して、便利な教養のラウンジなどでは、学生たちがグループワークやおしゃべりなどの、絶え間ない交流がありました。週末の交流イベントも多くあり、非常に活発な雰囲気でした。寮の近くにコンビニエンスストアもあり、早朝や深夜でも、食事、プリント、スキャナー等にも、困ることはありませんでした。ただ、大学の敷地が広く、校舎によっては、徒歩 30 分となる場合もあり、多くの学生が自転車を所有していました。
交友関係	日本人などを対象とした日台交流会のイベントなどがあり、多くの台湾の友達や多くの台湾大学や他大学の日本人留学生の友達を作ることができます。留学生同士の交流会も、寮や SNS で数多く企画されています。大学の正規生とも、学部毎のクラブを通じて、深く交流することができると思います。台湾内、世界のあらゆる地域から多くの学生が学んでいます。様々な学生と交流することをお勧めします。ただし、留学の目標も忘れずに、楽しいだけの交流に流されすぎないように注意して下さい。
困ったこと、大変だったこと	非常に大変だったことは、東京育ちで実家暮らしの私が、親元以外で、長期間の生活するということでした。自己責任で、定時に朝起きする、食事のバランスを考える、勉強時間を確保する、健康に注意するなどの必須事項があります。これらは、すべて生活の基本ですが、授業が本格的に始まり、数週間もすると、リズムが狂ってきました。これまで、いかに甘えて生活してきたか、いやというほど認識しました。1ヶ月程の短期留学では、仲間がいれば、勢いで時間が過ぎていきますが、長期留学では、留学生の目的がそれぞれに違い、行動はすべて自己責任となり、多くの困難に遭遇しました。

学習内容・勉強について	週5つの中国語授業の他に、7つの授業(専門科目および教養科目)を履修しました。難しいとは解っていましたが、いけるところまで頑張ってみようとしてスタートさせました。しかし、授業のレベルは大変高く、台大生や留学生が非常に優秀で、非常に苦労しました。授業が進むにつれ、プレゼンの発表や授業の理解のために、授業外のグループワークも必要となり、一部の科目はドロップする選択もしました。本当にギリギリの中で、もがき苦しんでいましたが、アジアの歴史や政治の授業は大変興味深く、留学して本当によかったと感じることも多くありました。
課題・試験について	授業毎に課題の量が全く異なり、進め方も異なります。シラバスで確認するだけでなく、初回の授業に実際に出席して、最終的に履修するか判断すればよいと思います。履修していた授業は、中間は記述テスト、期末がレポートという形式が多くなりました。レポートでは、課題がシラバスや先生の発言から提示されれば、早めに取り組めると思います。それぞれの授業で office hours が設置されており、不明な点は授業以外でも質問することができます。
大学外の活動について	社会科学院の経済学系の卓球クラブや日台交流会等に所属していました。授業とは違う交流ができ、台湾人の気質も少し理解できたと思います。台北近郊大学(経済学系)の卓球団体大会に出場し、よい経験となりました。(写真添付) 台湾大学では、体育系クラブ、文化系クラブ、ボランティアなど様々な団体があります。1つでも所属すれば、留学生活にも幅がでると思います。ただし、過激な活動、怪しげな活動の団体の情報も耳にするので、しっかりと内容を確認して所属することを、お勧めします。
留学を志す人へ	留学はキラキラすることばかりではありません。(成功の数・量)<(失敗の数・量)でした。留学しても、準備不足や学習量が少なければ、語学力や学力が急激に向上することはありません。また、台湾大学では、現地学生や留学生の学力等が非常にハイレベルです。それでも、歯を食いしばって頑張れば、失敗することもあります。上手いことあります。その中で、自分自身で納得する結果や、次に繋がる気づきも得られます。 また、台湾(台湾大学)は、現地の人々が優しく、日本人も多く、流されてしまう環境もあります。自分自身の目標を忘れずに、頑張ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業/自習	授業	授業/自習	授業	交流活動	交流活動
	授業	授業	授業	授業	授業	交流活動	交流活動
午後	自習	授業/自習	授業	自習	自習	交流活動	交流活動
	クラブ活動	自習	自習/交流	自習	クラブ活動	交流活動	交流活動
夕刻	クラブ活動	言語交換等	自習/交流	言語交換等	クラブ活動	交流活動	自習
夜	自習	自習	自習	自習	自習	交流活動	自習